

作成日 2023年 3月27日
最終更新日 2025年1月15日

「情報公開文書」

受付番号： 5122

課題名：健康管理指標の開発のための研究

《研究全体の責任者》

防衛医科大学校分子生体制御学講座 教授 松尾 洋孝

《本学における研究責任者》

滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 教授 三浦 克之

1. 研究の対象

平成23年（2011年）9月以降、（防衛医科大学校校長承認日）までに防衛医科大学病院または本研究の共同研究機関で健康診断を受けられた方、またはそのご家族を対象とし、その時点で、この研究に参加されることに同意をいただいている方が対象です。

※本学においては、2006年以降に「滋賀県における生活習慣病の発症要因に関するコホート研究」に参加同意をされた方で、日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）および将来の新たな共同研究への参加同意された方

2. 研究期間

滋賀医科大学学長許可日～令和13年（2031年）3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

本学で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：滋賀医科大学学長許可日 2025/12/23

提供開始予定日：滋賀医科大学学長許可日 2025/12/23

※試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長：滋賀医科大学学長

4. 研究目的

本プロジェクトでは、健康診断におけるよりよい健康管理指標の開発を目的として多施設共同研究で解析を行っています。また、健康診断などの受検者などの正常者の解析結果と、病気をもつ症例の解析結果を比較検討することにより、病気の予防や早期治療にも役立つような、健康診断時の健康管理指標の開発を目指しています。

5. 研究方法

血液などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造を解析します。調べる対象は、現在明らかになっている痛風の主要な病因遺伝子を含め、関係する可能性のある数多くの遺伝子です。

近年、技術革新が進んだことにより、ゲノム全域の多様性について病気との関わりを調べることができるようになりました。ゲノム全域の多様性の解析（「ゲノムワイド関連解析」という手法による解析）については、共同研究機関である久留米大学医学部医化学講座で主に解析され、国内外の研究機関との共同研究として解析します。

他の遺伝子解析の多くは防衛医科大学校で実施され、検体も責任を持って保管されます。研究終了後は、倫理委員会で定められた期間、厳重に保管した後、密封容器に破棄あるいは焼却処分します。

将来、検体を別の研究に用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理委員会の承認を受けます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、尿、呼気濃縮液 等

情報：健診結果、アンケート結果 等

※本学からは提供される試料は血液[血漿、血清及びバフィーコート]、尿、情報は血液、尿検査結果、アンケート結果及び測定済みのゲノム情報になります。

7. 外部への試料・情報の提供

試料・情報の一部は、共同研究のため、個人が特定できないよう氏名等を削除し、記録媒体あるいは郵送、電子的配信等によりアメリカ合衆国内の研究機関（アラバマ大学、米国防保健科学大学）にも提供されます。対応表（復元情報）は、研究責任者が保管・管理します。

アメリカ合衆国における個人情報保護に関する制度については個人情報保護委員会のWEBページをご覧ください。

(URL : <https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>)

また、提供先の研究機関においては、OECD プライバシーガイドラインを全て遵守してあなたのデータを取り扱うことを確認しています。

8. 研究組織

研究責任者 防衛医科大学校 分子生体制御学講座・教授・松尾洋孝

(分担研究者等を含む詳細な情報は防衛医科大学校分子生体制御学講座公式ホームページ (<http://ndmc-ipb.browse.jp/Collaborative-Research.html>) をご参照ください)

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は、講座研究費、防衛医学先端研究費、防衛医学基盤研究費、競争的研究資金（科学研究費助成事業、厚生労働科学研究費）、防衛医学振興会です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. 二次利用

本研究でこれまでに得られた試料・情報は「痛風・高尿酸血症及び尿酸関連疾患の病態解明に関する研究」（研究代表者：松尾洋孝）の対照群として二次利用いたします。

11. お問い合わせ先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者もしくは対象者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合

もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

本学における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 教授 三浦克之
滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 客員教授 高嶋直敬

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

連絡先：電話番号：077-548-3658

本学の研究責任者：滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 教授 三浦克之